

6年生が議会に提案

「比布町の未来づくり」

3月17日(月) 福祉会館大講堂
で「こども議会」が行われました。

比布中央学校6年生の総合学習として自分たちが考えた町の課題を町議会議員に発表していただきました。

6年生は5つの班に分かれて「ナナプラザを道の駅のようにして特産品を集めて販売、PRする」ことや「いちご、メロンを使った手作りスイーツ体験」「美味しいのに規格外で廃棄される野菜等をフリーズドライにした災害用食品の開発」また見学旅行で札幌、小樽に行き、旅行者へのアンケート調査を行った際、比布の場所を知らない人が多いことを知り「SNSを使い比布の魅力をもっと発信する」など様々な提案をされました。子どもたちの柔軟な発想を私たちも見習わなければなりません。

(谷口 雅浩)



こども議会提案内容

1班 ナナプラザに特産品を集める

お土産を販売している場所が分散していることから、比布町自慢の特産品をナナプラザに集める提案があり、店内のイメージや販売方法等について説明がありました。



店内イメージの一部

2班 魅力的な手作りスイーツ体験

比布町の特産品を多くの方に知ってもらいたいという思いから、いちごやメロンを使った手作りスイーツ体験の提案があり「缶のショートケーキ」や「メロンのショートケーキ」の作り方について紹介がありました。



缶のショートケーキの作り方

3班 ふるさと納税 SNS・宣伝チーム

比布町の特産品をPRするための3つの提案がありました。

- ①いちごを期間限定の返礼品に取り入れる。
- ②比布町の観光スポットなどを背景にして、先

生や子どもたち、町民のみなさんに踊ってもらい、SNSで発信する。
③比布町の特産品をイメージした新キャラクターを作る。



新キャラクター案

4班 田んぼアート

観光客を増やすため、比布町の田んぼを活用した田んぼアートの提案があり、田んぼアートの作り方やいちごちゃんをモチーフにしたデザイン案の紹介がありました。



田んぼアートのデザイン案

5班 レトルト食品・災害用食品

比布町のお米と廃棄野菜を活用した災害用レトルト食品を開発して、ふるさと納税の返礼品にする提案があり、お湯を入れてつくるおにぎりや米粉パンとジャム、廃棄野菜で作るインスタントスープなどが紹介されました。



廃棄野菜で作るインスタントスープ